

井上わたると

27歳

無所属



和光の政治に挑戦!!

皆様とお会いするために
駅でまちで「顔の見える活動」を
してまいります。

新しい和光をつくる会 第4号

～配るホームページ～

あなたは **23501** 番目の読者です。

前号までにお届けした枚数です。

政治信条（私の目指す政治）

3つの政策

—政治信条—

- 1、幅広い世代や、新たに和光に移り住んできた人にも、和光市の政治を身近に感じられるようにしたい。
- 2、しがらみのない政治をつくる。（⇒そのために、無所属を選択しました。）

その実現を目指して「井上わたると新しい和光をつくる会」では、大きな組織に頼らず、ボランティアでの活動を続けております。

このチラシも「**井上本人**」か、**ボランティア**の方々が皆様にお届けしています。

私たちには「地盤」「看板(=知名度)」「カバン(=資金)」はありません。地元の名士ではありませんし、資金もサラリーマン時代の貯金と、皆様からのカンパで活動中です。

あなたの市政へのご要望・ご意見を聞かせてください。皆様の架け橋となって声を届けます!

切り取ると
ハガキになります。

裏面は「紹介カード」になっております。
(匿名でもかまいません)

キリトリ

郵便はがき

3 5 1 □ □ □ □

料金受取人払

和光郵便局

53

(受取人)

井上 わたると
新しい和光をつくる会 事務所 行

差出有効期限平

成20年12月30

日まで

↑切手を貼らずに投函できます。

(なお、50円切手を貼っていただくと負担が減り大変助かります。)

キリトリ



あなたが和光市で暮らしていて「関心のあること」「不満なこと」、
「改善してほしいこと」など、あなたの市政へのご要望を聞かせてください
(例) まちづくり、高齢者社会、育児・教育、環境問題 etc

ご協力ありがとうございました。

裏面の「ご紹介カード」も宜しくお願い致します。

—政策—

- 1、昔からの和光市民も、新しい和光市民も、みんなが暮らしやすいまちづくりを目指します。
- 2、日本全国に発信できる「介護」の優れた和光市を実現します。
- 3、教育・防災・環境問題に力を注ぎます。

和光市が今の人口増加や財政上の安定を、将来も持続するための重要政策は「介護」である、と私は考えております。高齢者の支援を手厚くする一方で、若年層の負担が増えてしまつては、市の財政は破綻します。今の高齢者が安心して暮らせて、そして若年層がこの和光市で暮らし続けられるように**持続可能な介護モデル**を和光市に実現したいと思っております。



「新しい和光をつくる会」会員（無料）ボランティア募集!!

- ・一緒にご近所にチラシを配ってくれる方
 - ・切手、文房具等をカンパしてくれる方
 - ・ご近所、知人に私たちの活動を紹介してくれる方 等
- このハガキにご記入いただき、ご連絡ください。

表面のアンケートのご記入もお願い致します。

あなた	お名前(フリガナ)		生年月日	おところ	和光市
			年 月 日		
	電話		E-Mail		
男	女	当会を知ったきっかけ ()			

もし、ご協力いただけることがあれば、以下にチェックをお願いします。

- 会報誌を希望します。（新号発行時にご自宅へお届けします。）
- ボランティアでお手伝いできます。
- 切手、文房具等をカンパします。
- 知人を紹介します。（「ご友人紹介欄」をご利用ください。）

ご友人・家族	お名前(フリガナ)		生年月日	おところ	和光市
			年 月 日		
男	女	電話	あなたとのご関係	友人・仕事関係・親戚・同窓生 家族・その他()	

ご友人・家族	お名前(フリガナ)		生年月日	おところ	和光市
			年 月 日		
男	女	電話	あなたとのご関係	友人・仕事関係・親戚・同窓生 家族・その他()	

■匿名でもかまいません。 ■可能な範囲でご回答ください。
●ご連絡いただいた情報は、当会の活動以外の目的には使用いたしません。

◆井上 航(わたる)の経歴◆

昭和54年 10月1日生まれ
 平成14年 立命館大学 法学部 環境生活法コース 卒業
 平成14年 株式会社パソナ 入社
 平成16年 独立。株式会社メディカルケアーズ・ジャパン 設立・入社
 平成17年 営業譲渡により 株式会社シグマスタッフ へ。
 高齢者施設へ介護職員・看護師を派遣する仕事です。スタッフがいない場合は、自分も介護の現場に入っていました。

趣味：演劇（ボランティア劇団 設立経験有り）
 格闘技（市内格闘技ジム所属）
 資格：ホームヘルパー2級、
 人材派遣業 責任者資格（派遣元&紹介元）
 特技：卓球（市内卓球サークル所属）

お問い合わせ・発行元：

「井上わたると新しい和光をつくる会」